

足立卷一  
え・津高和一

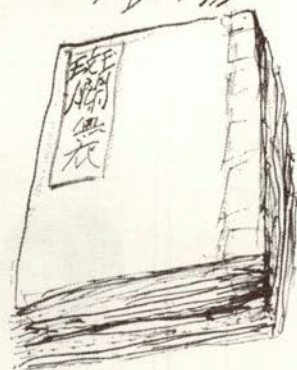
# 非惡心童 物語

秘 9

著

ぼくたちは「惡童」ではなかった。  
しかし「善童」でもなかった。

敬亭紙著  
二十四冊



前身まで

父は二六新報という新聞の同人であったが、ぼくの生後四月で急死し、母は実家に帰り、ぼくは東京でじいさん、ばあさんに育てられた。そのじいさん敬亭は漢学者で数人の門人に漢詩文を教えてはそぼそと暮らしを立てていたのだが、ひどいドモリの変人で、ひとりで電車にも乗れない生活無能力だった。小学校一年のときにばあさんが死ぬと、ぼくとじいさんとは東京を放浪し、香奠を旅費に変えて出身地の長崎に帰ったが、親戚は受け入れてくれず、やはり木賃宿暮らしをつづけているうちに富商の妾宅に世話になってやっと落ちついた。と思うと、じいさんは銭湯で頓死してしまい、ぼくは孤児となった。大正

十年六月のことだ。そのちぼくが成人して最初の著書を出版すると、その新聞広告によってじいさんの門人尾崎楓鑑という人が二十五年ぶりに神戸にあらわれる。尾崎さんはじいさんの詩文集を出版しようとして成らなかったことなどを語る。昭和十八年晩夏のこと、ぼくは灘区の岩屋に住み、結婚して長女が生まれたばかりで、第一神港商業の国漢教師をつとめていた。

尾崎さんは、しきりに目ばたきをした。

「わたしもちかごろ目が弱くなりまして」

そういえば、かすかに白濁がある。ソコヒのけがある

のかもしれない。

「よくも成人なされ申した。敬亭先生も仙下で必ずやおよろこびでござんしょう」

たしかに、じいさんはよくが成人し、人なみに父となつたことをだれよりも喜んでいるだろう。それは疑いようもない。なぜなら、じいさんにとってぼくはこの世に残されたたったひとりの肉身であり、そのときぼくはまだひとりで生きる力を持たないあやうい幼年にすぎなかつたから。

が、じいさんに突然フロ屋で死なれ、孤児となつた悲しみはふしぎに記憶にない。まだ八歳であつたからかもしれないし、自失していたからかも知らない。

記憶に焼きついているのは、目のくらむような烈日の野なかの道を火葬場へ歩いたことぐらいである。それに付随してしきりに棺桶がゆれたこと、ぼくたちをしめ出した寺の住職がそのとき何かと指図し、こう暑いとホトケの臓水がもれるのではないかと同行の僧と話しあつていたことである。それを聞いて、ぼくは棺桶を見つめて歩いたような気がする。そして、野の道にかすかな液体が線を引いていたようにも思える。

つぎにおぼえているのは、埋葬のことである。墓は寺と重縁の有力檀家であつたためか、本堂のすぐそばの石をめぐらしたところがあり、イボタの木がはえていた。そこに穴が掘られ、骨壺がすえられた。ぼくは突然、

「さあ」といって一握りの小石と土とを持たされ、そこに投げこむようにいわれた。それがどんな音を立てたかは、まったく記憶にはない。

とにかく、そうして祖父敬亭の一生は終わった。

ドモリで、変人で、生活能力はいくも無く、漢詩文ばかりにふけて長崎有数の家産を使ひはたし、息子や帝大に進学させてやっと卒業、就職、結婚、孫の出生を見たかと思うと急死され、つれそつたばあさんに死なれると孫の手を引いて放浪し、郷里に帰つても親戚、縁者にツマはじきされ、あげくは銭湯に沈んで死んだ。

最後に作つたと思われるじいさんの名刺が一枚残っているが、肩書きと雅号とばかりがいやに多い。

前代議士東京麹町区秋山家漢文講筵主任

前東京神田二六新報騒壇記者

現東京牛込雑誌大日本社客員

現東京素人義太夫名人会一員

新曲（乃木楼千代の薫り）の著者

新長崎市特属優待長崎風土誌編輯員

商名士行之崎人（奇人）中村五洲家庭教師

それが肩書きで、小活字でびっしり刷りこんである。

「秋山家」というのは二六新報社主秋山定輔のことで、父の縁で漢学をときに講じていたからである。「二六新報騒壇記者」というのは、これも父の関係で漢詩欄にときおり漢詩を発表していたからだろう。「大日本」はそのころの国粹主義的な総合雑誌の一つであり、「長崎風土誌」は「長崎市史」の前身でその古賀十二郎の序には祖父の名があげられているが、ほとんど仕事は実っていないらしい。中村五洲はぼくたちに一時の住まいを与えてくれた質商である。

号には「雅号 敬亭」、「曲号 古情」とある。

なんとも恥ずかしくなるような名刺である。大正初年の名刺としても、ずいぶん変わっている。生活能力がなく、しかも世にみとめられなかったのも、こんな自己宣伝になったものだろうが、そういうじいさんの思いはその一生にもあてはまることで、ぼくにはそれがわかり、祖父をあわれに思う。それとともに、赤児のように無邪気な人物であつたろうとも考える。

尾崎さんが示したじいさんの著作年譜を見ているうちに、ぼくにはさまざまな回想が静かに燃えた。

すると、尾崎さんは意外なことをいつたのである。父も祖父の薫陶を受けて漢詩文をよくしたけれど、その文才詩才は祖父翁にはとうてい及ばないと述べ「敬亭先生の書かれたものでは、戯詩文が格別におもしろござんすね。あれだけのことをああ婉曲に、機微をつくして書け



るお方はほかにはございますまい。おあずかり申した外編をここに持参いたしました」

そういつて、数冊の和綴じの本を机に進めた。すべてきれいに製本してあるうえに、ハトロン紙でカバーがつけてある。「漢訳範姑射秘言」「驅睡具」「双清情譜」「春夢痕」「院本戯訳成蹊集」「簾声日録」「斑斕舞衣」「玉鬘余情」「紫縁甘則」「東京写真鏡」などと、たいそうむずかしい題名が書かれているが、一見してそれらは春本とよばれるものを漢文で書いた男女の交情をつづった戯作とわかった。

それらの表紙には「秘著之部」と注記してある。

尾崎さんがさきに示した「足尾条約」に敬亭秘著「二十四冊、一函」の記載があり、著作年譜に朱筆で別記してあるのは、すべてこの種の戯詩文であることもはじめ

て知った。「敬亭文集編纂規定」にある洒落の著、外集にあたるものらしい。

尾崎さんはぼくたちが長崎に帰るときに、これらの秘著を全部あずかり、それを小川篤弼さんと全集に編むつもりでいたができなくなり、主要稿本を神戸の母の実家に送ったものということが便箋のノートでわかる。それが大正十年一月三十一日である。「同年二月十五日正午附ノ先生ヨリノ書類一式神戸ヲ経テ到達」とノートに出ているので、のちにぼくが長崎の寺から送られた父祖の稿本は祖父の死後寺に保存され、それが伝えられたのだ。ぼくはこの本の流転の伝承に敬肅な気分になる。さらに、秘著まで尾崎さんによって保存せられ、それをいまぼくに返すというのである。

ぼくは秘著を押しただくようにして頂戴した。

『美人を得たば』



そのとき、尾崎さんは奇妙なことをいった。

「わたしが敬亭先生に教えられたものは、人には熱心が大切だということでございます」

そこまでではなかった。というより、あたりまえのことである。

「先生は自分が美人を得たのは熱心のたまものだとよく申されました。それが耳にこびりついておりまして、な」  
ぼくはクソまじめいっぽうの中学教師であった。それには、美人と熱心との結びつきは意外千万であった。

尾崎さんが語るところによると、じいさんは若く美しい義太夫語りの女に執心し、かよいつめたあげく、ついにその心を得たというのだ。そういえば、母がじいさんは娘義太夫にウツツを抜かしていたというようなことをもらしたことがあり、夜、ふと目ざめるとドモリのじいさんが首をふりたてて義太夫をうなっていた記憶もある。

しかし、ぼくが知っているのは、黙りこくってぼくの手を握って歩いていったじいさんだ。長崎に帰って木賃宿を泊り歩いたころの日記が残っているが、そのころは碑文を直したり、借金をしたりしてや々と暮していたことが読める。その二月二十一日の条は「日曜、雪凜寒」とあり、「夕、西を問ひ、むしすし、玉子むしの食にあふ」とある。西とは知人で、そんなごちそうになったものらしい。

その翌日には「二十二日、火、雪」とあり、つぎのような記事を残している。

「此愛を見よ(昨夕初て吾一人ニテ西氏のムシズシ、玉子ムシに饒う。因て此夕は特にスシをケンに与へ、吾は十五銭の青年の夕めしを用ゆ)。五十銭、巻へむしすし」  
じいさんは西さん宅ではじめて自分ひとりムシズシと玉子ムシのごちそうになったので、ケン、巻——ぼくをすし屋につれていき、五十銭で食わせ、自分ひとり十五銭で若者が食べる普通の夕食をとったというのだ。ぼくは全然記憶していない。それだけにかえって、ぼくはこの日記を読んで、泣き出したいほどじいさんがあわれ

に、尊く思われたものだった。「此愛を見よ」というコトバはそのままぼくのはらわたにしみとおった。

ところが、そのじいさんは尾崎さんには美人と熱心とをくりかえして語ったという。

信じられなかったが、その秘著の『簞声日録』を何気なくひろげると、冒頭からえらいことが書いてある。

「古情人。一日臨鏡自寄曰。面長妙桑維翰。眼巨似張翼德。獅鼻而鰓口。涅艾為眉。種針為鬚。何吾貌醜惡一至此也。夫醜惡至此。而彼妹未全唾棄者。何也。為有金与。有才与。抑為有至恋切情不可割者与。此三者。於予一無有矣。則何如彼。是唯因藏一荖巨輩風味異常者耳……」

要するに、自分古情人は、顔は醜惡をきわめ、金も才も恋の切実さも持たないのに、あの女が自分を棄てないのはなぜか? 「一荖巨輩」を持つからである……というのである。ちなみに、輩とはキノコ。そして、その女を見そめてから、かようなようになるまでを事こまかにしるし、随所に思いをのべる漢詩をまじえているのだ。

ぼくは頭をたたきつけられたような気分になり、やがて、尾崎さんの妹さんがもう食事が不自由になっていたときにもかかわらず、クジラのフライを出してくださったのを早々と頂戴すると、家へ急ぎ帰った。そして、じいさんの秘書を読みふけたのである。そこには、おそろしい情痴の世界が綿々と、しかも、たいへんこっけいにつづってあった。

△つづく▽

## 現代の空間'68展★光と環境

とき★6月7～12日 ところ新館6階催物会場(無料)

■毎年現代美術が直面しているテーマにそって作家を招待し、展示するもの。本年度は「光と環境」のテーマで従来キャンバスと絵具を素材にした絵画・彫刻の概念をやぶり、新しい要素として光と動きをとり入れようとすると試みがこの一年にみられた。しかも壁面をはなれ、環境として見る人のなかに入りこみ、見る人の参加を要求している。このような傾向を一同に集めて展示するのはわが国初の試みと注目されている。

出品作家は、山口勝弘、多田美波、ヨシダミノル、向井修二、今井祝雄ら二十七名。

■なお毎年この作品のなから三洋現代美術賞(五十万円)のグランプリが贈られる。

主催/神戸市・神戸新聞社





ハイセンスの紳士服で最高のおしゃれを!

## 三恵洋服店

元町4丁目 TEL ☎ 7290

KOBE  SHIRT



よろずの縫衣上座

## 神戸シャツ

神戸店—神戸大丸前 33-2 1 6 8  
東京店—東急日本橋店1階 211-0511 内線219  
東急渋谷本店6階 462-3433



世界の品々は  
サノへでお選  
びください。



元町2丁目  
☎ 4707~8



高級紳士服専門店

## 神戸テーラー

さんちかメンズタウン TEL ☎ 0388  
生田区北長狭通2 (阪急西口) TEL ☎ 2817・3173



あらゆる体型に  
フィットする  
お誂えシャツ

MEN'S SHOP  
**セゾン**

紳士洋品の店  
**千穂庵**

元町4 TEL 34 6959



**大上鞆店・いなみ**

元町通1丁目 TEL 33・3962  
さんちがメンズタウン TEL 39・4627



センスあふれる  
べっ甲専門店

**太田鼈甲店**

元町1丁目 TEL 33 6195



Mr. Kent  
came to Kobe  
流行に左右されない  
本来のオシャレ  
それがKentです  
シックな  
スコッチ風の店舗  
それがFunakiyaです

オシャレ洋品の店  
**フナキヤ**

元町3 TEL <33> 3617



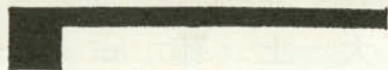


創作ハンドバッグ  
工芸品 ORIGINAL

神戸 ■ 元町

ACCESSORIES

イクシマヤ



TEL. (33) 2415・2416

創業明治二十八年

履物の山下

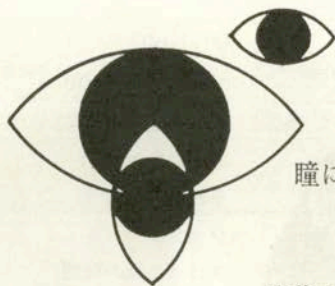
古い老舗に新しいセンス

神戸 三宮センター街

TEL 09 0256

確実正札 完全冷暖房

静かに品選びの出来る店



瞳に美しさを保つ  
スポーツに  
美容に  
現代の科学が生んだ  
コンタクトレンズ

日本コンタクトレンズ協会会員

国際コンタクトレンズ研究所

神戸市灘区御幸通八丁目九ノ一 (三宮駅前)

神戸国際会館内 TEL (22) 8161・(23) 2570



羽アリを見たらその周辺に白アリの巣があります

家の大敵!

白アリ

●家の新築には予防が大切です

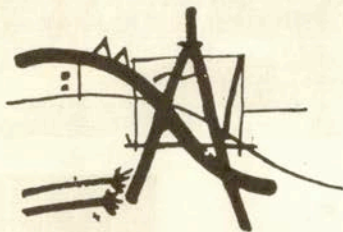
- ▶ 駆除予防専門施工  
(調査無料10ヶ年保証)
- ▶ 兵庫県環境衛生事業協会理事
- ▶ 神戸商工会議所会員

アイワ消毒 (株)

神戸市生田区中山手通3~52 トーアロード筋

TEL. (39) 8636・(33) 0854

額縁絵画・洋画材料  
室内工芸品



末 積 製 額

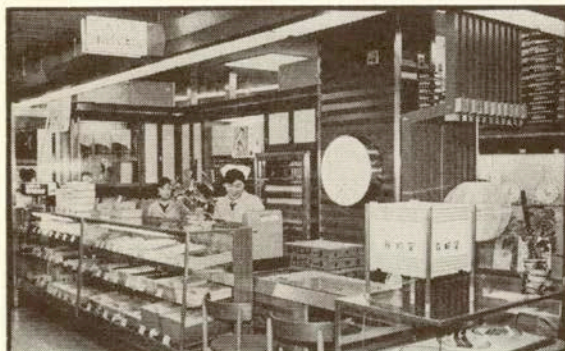
三宮・大丸北  
トア・ロード  
☎1309・6234

水遊び用品が  
揃いました



おもちゃの カ メ ヤ

三宮方面でのお買物は………	
さんちか店	ファミリータウン 09 4045
三宮店	センター街大洋劇場東隣 03 4969
元町方面でのお買物は………	
元町店	元町通3丁目山側 03 0090
パンプウ店	元町通1丁目不二家前 09 0768



ご贈答に風味豊かなカステーラ

長 崎 堂 本 店

本 店=大橋町5大五ビル (61) 0553-4  
新開地店=松 竹 座 前 (56) 2 4 2 3  
元 町 店=元 町 6 (34) 4 1 3 0  
さんちかスイーツタウン (39) 3 6 2 5

The  
Cosmopolitan  
Valentine F. Morozoff

コスモポリタン  
チョコレート・キャンデー

神戸本社	神戸市生田区三宮町1丁目170	電話 33-5304
神戸直売店	神戸市生田区三宮町1丁目	電話 33-1217
大阪堺筋店	大阪市東区淡路町2丁目	電話231-6979
大阪心斎橋店	大阪市南区安堂寺橋通4丁目	電話251-4182
東京銀座店	東京都中央区銀座8丁目	電話571-2303
東京新宿店	東京都新宿区角宮1丁目 新宿ステーションビル地下2階	電話352-2436
東京有楽ビル店	東京都有楽町 有楽ビル	電話213-2821
東京国際ビル店	東京都丸ノ内 国際ビル	電話212-3746



おすし  
てんぷら



栄  
彌



営業時間

A. M. 11.30 ~ P. M. 9

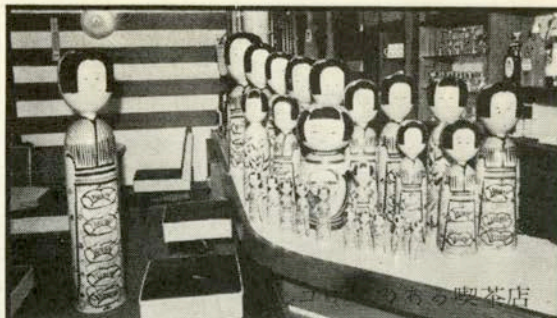
本店

大丸前・三宮神社東  
TEL 557742

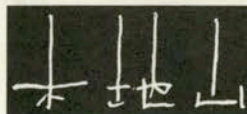
支店

さんちか味ののれん街  
TEL 395233

(毎週月曜日休み)



喫茶



神戸市生田区加納町2丁目29  
TEL (23) 5550



神戸っ子のみんなに愛される落ちついた喫茶店



ai

TEA ROOM

喫茶 愛

★神戸・元町本通元一ビル2階 TEL (32) 0958

やっぱりうまい  
むさしのとんかつ



コベ三宮  
ムサシ  
でんわ  
0223  
0063  
6335  
541



洋酒の店 キャンテイ

**Chianti\***

神 晴 夫 TEL(39)3060

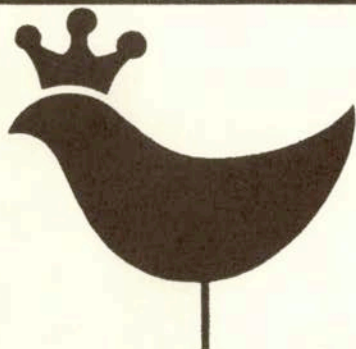
213KITANAGASA-DORI IKUTA-KU KOBE

*YB*

CLUB  
*Young Bell*

松 田 真 理 子

生田・中山手2丁目89・光ビル1階 TEL 33-3052



CLUB 小 万

生田新道相互タクシー上る

PHONE : 39—0638  
39—4386



洋酒の店

**OK**

小 川 深 雪

阪急西口下る京町筋  
TEL <39> 1413



# 兵庫の女

武田 繁太郎  
え・松岡 寛一



まつをの長兄の藤井秀吉が、次弟の政市を連れて、広島からかけつけてきたのは、翌々日の朝であった。

以前にいちど秀吉と会ったことがあるという市橋が、二人の肉親を迎えた。

まつをにはすぐ下の弟にあたる政市は、広島市内の観音町というところで、小間物の店をひらいているという。長兄の秀吉は、危篤の電報をうけると、吉坂村からバスで五、六時間もかかる広島市にでて、この政市を誘ってきたのである。

秀吉は、日焼けした、しわの多い顔に不精ひげを生やし、いかにも百姓然とした五十男であったが、弟の政市は、商人らしい如才のない物腰に、どこか抜け目のなさそうな感じがあった。まつをは、二人のどちらにもあまり似ていないようであった。

★あらずじ まつをは十五才で広島の家を出て鐘紡の女工になり、同じ職場の安福利市と結婚。共稼ぎで苦労したすえ、呉服屋かたち屋を開いた。結婚後二十年やっと子宝に恵まれたが、利市は「南栄商店連合会々長」に選ばれたが、多忙な身は病を起し翌年三月に他界した。

亡夫の一周忌をすまずと、まつをは大活躍をはじめ、ふと口にした酒の味が忘れられなくなる。昭和六年の正月、まつをを高血圧で倒れた。番頭は呼吸器の権威天沼病院にまつをを運びこみ、昏睡状態がつづく。実母の勢津が危篤電報で神戸へとんでくる。そして孫の良治のかわいさ一心から「もしやのことがあれば良治の身柄はひきとって育てる」と胸中を語った。

「寝耳に水の電報で、驚かれましたやろ？ 遠いところを、ご苦労さんでした」

市橋が控えの部屋で二人に挨拶すると、

「どんなでしょう。病人の具合は？」

と、秀吉は、挨拶も抜きにして、いきなりたずねた。

まつをは、依然として昏睡状態をつづけていた。発病して三昼夜、その間いくどか、主治医が良治や勢津たちを患者の枕元に呼ぶ場面がくりかえされたが、それでも、まつをの生命の灯は、たえず明滅しながら、どうにか消えずに点つていた。

「まあ、病院でも、いまのところは、カンフルと食塩注射で持たせておるようですけど、どうも、それ以上、手のほどこしようもないらしいですな」

市橋は暗い表情で語りながら、ふと、対いあっている二人の肉親の態度に、なんとなく納得できぬものを感じとった。

むろん、二人とも深刻そうな顔はしていた。しかし、危篤の電報でかけつけてきて、病人がまだ最悪の状態でなくてよかった、といった喜びの色がどうも二人には感じられぬのである。

病人とは義理の仲の勢津でさえ、病室にはいるなり、間にあいましたか。よかった、よかった」

と、病人の枕元に崩れるようにすわりこんでいた。それが、人間の自然な感情の流露というものではないか。

市橋は、まつをがこの兄弟たちとほとんど行き来していなかったことは知っていた。十五才で故郷を出奔したというまつをとっては、故郷の生家にはあまり愛着も感じられなくなっていたのであろうし、また、兄弟のほうでも、家を捨てた妹には、肉親らしい愛情がうすれていたのかも知れない。

それにしても、血をかけた妹が生死の境を浮沈しているのである。市橋の目には、二人の態度がひどく素っ気なさすぎるように写った。二人とも、危篤の電報で、もう駄目だときめてかかり、ただまつをの死を確認しにや

つてきたのではないか。市橋は、そんなふうに勘ぐりたくなかった。

秀吉たちは、勢津とは初対面であった。そのせいか、おなじ控えの部屋にいても、秀吉たちは勢津に言葉らしい言葉もけななかった。他人行儀というよりも、この妹婿の生母をなにかうさん臭い目でながめているようであった。

勢津の娘の富子が、夫の水田と連れだって、名古屋からやってきたのは、その翌日の夜のことであった。

勢津は、八鹿を発つとき、まつをの危篤のことはいちおう富子に知らせておいたといっていた。だが、こうして夫婦そろってやってくるとは思っていなかったらしく、意外そうな面持ちで二人を迎えた。

「おまえら、もう用意してきたんか？」

勢津は、水田のさげている大型のトランクに目をやりながら、小声でたしなめるようにいった。トランクの中味は、夫婦の喪服にちがいがなかったが、そういえば、秀吉たちも、大きな唐草模様風の風呂敷き包みを持ってきた。喪服の準備をしてこなかったのは、あわてて家をとびだした勢津だけであった。

「さいしょの電報から、あとなんにもいってこんで、やきもきしてたわよ。もうころあいだろうと思って、きてみたんだけど、義姉さん、まだだったのね」

まだだったことが、不服でもあるかのように、富子は、控えの部屋にどざりとからだを投げだしてすわった。

富子は三十なかばの年ゆきだったが、一見してカフェバーあたりの水商売上りとわかる小粋きな和服姿であった。夫の水田は、船員あがりということだったが、これも、大柄なからだを派手なダブルでつつみ、ちょっとやくざっぽい感じの四十男である。

勢津が、娘夫婦を秀吉たちにひきあわせると、

「やあ、はじめまして、水田です。名古屋の大須という盛り場で「カドマ」という酒場をやっとります。以後こ





昵懇に」

と、水田は田舎者の秀吉たちを煙に巻くようにいった。そういえば、この夫婦はいかに安酒場のマスターとマダムといった感じであった。

良治は、母の病状がいつ急変するかも知れないので、ずっと病院に待機していたが、いつまでも学校を休むわけにはいかなかった。四日目の朝、ひとまず帰宅して、

万一のときには、登校中でもすぐ病院に急行することにした。彼には三カ月後に中学の入試がひかえていた。

しかし、まつをの病状は、もう時間の問題のように、だれにも思われていた。金の糸目をつけぬ治療で、ただ死期を一寸刻みにのばしているだけであった。

市橋たちは、病室の隣りの部屋を五人の親戚に使ってもらい、自分たちはもう一部屋の控えの間によりあっていたが、親戚の部屋では、終日、なにやらひそひそと話しあっているらしい気配がつづいていた。

「えろろ仲のええこっちゃなあ。双方ともここではじめて顔をあわせたというのに」

紀州屋が皮肉たつぷりの口調でささやいたが、市橋も思わず眉をひそめていた。

ときどき、富子の甲高い声がもれてくる。なにかをい争っているような気配だった。

市橋たちには、隣室のなかの様子が手にとるようによめていた。彼らは、まつをの死をもう既定の事実として、死後の遺産の分捕りで争っているにちがいがなかった。

かたち屋の資産は、市橋たちがおおざっぱに見積っただけでも、三、四十万円はあったろう。御崎の商店街でも、五指にはいる身代であった。

むろん、まつをには嫡男の良治がいる。だが、未成年のこの相続人は、後見人の承諾なしには、自分の財産でも、一円も自由にすることはできない。相続人が満二十才になるまで、かたち屋の財産は、実質的には後見人の財産にひとしかった。そこが、親戚たちの付け目にちがいがなかった。

後見人には、だれがなるか。世間のしきたりからいえば、まず、良治の母方の伯父にあたる秀吉であろう。

青鹿勢津は、法的には良治とは赤の他人であった。かたち屋の資産に容喙する権利は勢津にはない。だが、なんといっても、勢津は、良治とはもっとも血の濃い、父方の祖母であった。祖母と孫という、この血縁関係は切っても切れなかった。

＊ 神戸の催物ごあんない ＊

＜音楽＞

▶村田英雄ショー

6月13日 PM6:30 6月14日 PM2:00 6:00  
会費/¥430 民音6月例会 於神戸国際会館

▶黒沼ゆり子と京都市文響楽団による名曲コンサート

6月17日 PM6:30 会費¥650 労音6月例会 於神戸国際会館

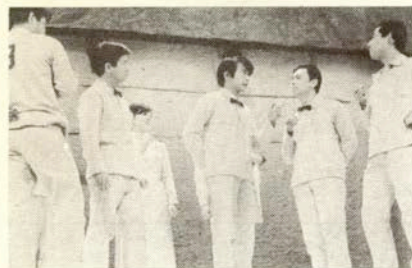
▶高石友也とフォーク・キャンパーズ

ザ・フォーク・クルセダーズ

6月26日 PM6:30 会費¥400 於海員会館

6月27日 PM6:30 会費¥450 於神戸国際会館

労音6月例会



俳優座公演「ベトナム討論」の一場面

＜演劇＞

▶俳優座公演「ベトナム討論」

6月28・29・30日 PM6:15 30日のみ PM1:30  
会費/¥550 作/ベーター・ヴァイス 訳/岩淵達

治 演出/岩淵達治・木村鈴吉 出演/神山寛・袋 正  
福田豊土・菅貫太郎・遠藤剛・山本圭・新克利・佐藤オ  
リニエほか 労音6月例会 於神戸国際会館

＜美術＞

▶長崎の版画展

5月31～6月25日 AM9:00～PM4:30 入場料金  
/大人¥50 小人¥20 於南蛮美術館 月曜休館

▶古代美術展 小川雨虹日本画展

5月31～6月5日 於そごう百貨店8階画廊

▶新しい美術の動向「現代の空間'68」

6月7～12日 主催/神戸新聞 於そごう百貨店6階催  
物会場

▶瀧見忠司作陶展

6月14～19日 於そごう百貨店8階画廊

▶橋田親子染色工芸展

6月21～25日 於そごう百貨店8階画廊

「なるほどな。名古屋の娘はんが夫婦連れで乗りこんできたのも、無理ないな」  
紀州屋が富子夫婦の肚のうちを見すかしたようにいった。  
「娘はんにしたら、まつをはんの里の連中に、かたち屋の財産をそっくり持っていける手はない、ちゅうわけやろ。良ちゃんは、お勢津はんのかわいい孫や。娘はんかて義理にもせえ、良ちゃんの叔母はんや。娘はんの肚ではあわよくばお勢津はんを後見人に仕立てあげるか、それがあかなんだらせめて遺産の半分でも三分の一でも分捕ろう、ちゅうところやろ」  
「そうかも知れんな」  
市橋もうなづいた。  
「藤井はんのほうも、おおかたそういうところを予想して、弟の政市はんが助っ人についてきたんやろ。あの仁はなかなか隅におけん商売人らしいさかいな」  
「どっちみち、政市はんにせえ、富子はん夫婦にせえ、ここでもよっかいだしといったら自分らの口もぬれるさかいな」  
「けど、あさましい話やないか。だれも、まつをはんの病気を心配して見舞にきたんやない。死にかけてる病人

のそばで、財産の分捕りをはじめてるんや。親類で、そんな薄情なもんか」  
「人間、金には弱いなあ。金のことになったら、兄弟でさえ、他人のはじまりいうやないか。こら、なかなかすんなりと話はつかんで。どうせ、いまにひと荒れ荒れるやろ」  
「いちばんかわいそうなんは良ちゃんや。みなし児になるうえに、へたしたら、財産をみんな巻きあげられ、厄介もん扱いにされるのが関の山やろ」  
「というて、他人のわしらでは、このさい、どうにもならんしなあ」  
紀州屋が歯がゆそうにいった。  
「あのお勢津はんは、どう考えてるんやろ」  
「さいな。万一の場合は、良ちゃんは自分が育てる、いうてたけどな」  
「けど、藤井はんが自分が後見人になるつもりなら、良ちゃんをはなすまい」  
「そうすると、こんどは良ちゃんの分捕り合戦か」  
だが、紀州屋のこの予想はあたらなかった。  
勢津が市橋と紀州屋に、意外な胸のうちを語ってきかせたのである。  
(次号につづく)



目につけても懐かしい孫娘の良き話になりたく決心して、丁度よい頃な美しい雑誌「神宮」子、から知識を得てお下さるすうかり本の「お恥かしく心持する」ものになつて、私の邊に。思返つてみますに、私の遠い昔昔清治娘の頃は、こんなに賤明かにビツカリと合ふは若い人無き、まことに「雑誌」といふもの、まことに親類縁者などといふもの、そんなことを思ふと、今高校一年生の孫娘はなんぞせな時代に生れて奇つてくるのだうと羨ましくなると共に、喜びにこの老いた胸も熱くなつてゐる次第でございます。

「僕も同様神戸っ子」を熱烈に愛護して居る皆さん、五月五日の神戸カーニバルは最高でしたわね！やはり神戸ですカーニバルにふさわしい街なんですわね。お帰りのした各チームの衣裳は観るに十分値した、種々のアイデアでものには全く感激でした。本場リオの調肉祭を打ち出で、神戸の神戸カーニバル祭を打ち出で、神戸市民の楽しい祭ごとにくっつけようっ子チーム」これからの努力を期待します。僕の手からサンバのリズムが去り、口から痛風が遠のかないと、僕は授乳に身が入りません。

竹津玉田田田滝滝竹角砂塩新白雀坂阪古後上小小小  
馬高井中中村宮川川中南田路谷川部口本林藤林林泉林磯  
準和 健寛孝虎勝清 猛重義秀 昌干 喜末英秀徳芳良  
之助一操郎次介彦二一郁夫民孝雄渥介雄勝豪二一雄一夫平

神行山若百村宮宮松福深原畑野南中直外  
青吉口杉崎上地崎井富水　　口沢部西木島  
年哉泰辰正襲辰高芳惣泰專忠幸圭太健  
議女弘二賢雄一二雄男美吉良郎一二郎三勝郎吉一

★ 第三回神戸カーニバルは、前夜祭・小雨模様にもかわらず、五月五日はさらに晴れ。フラワーロードと竜舟筋は超満員の入出。パレードは国際色ゆたかに噴水広場で、この日の息吹でむせかえった。こんな二世界中の人々がリラックスに楽しむ祭は、ちよつとよそではお眼にみえませんが、ミナト神戸の誇るべき祭に、来年も、市民のアイディアをあつめて盛りあげたいものである。

△小泉康夫△

★ サンパ・神戸っ子のパレードは、心底から愉快だった。踊りつつ眺めた甲の磯線と神戸湾の汽笛のファンファーレは忘れられないのだ。

★ 四月十五日の酒祭りとお祭りつての編集の締切日がくるのに、サンパからサントレビへ。そして水着のサントレビ。頭の方も総チヤンネルにした気分だった。

★ 今日から神戸大学四年生の学生

★月刊神戸っ子を毎月お読みになりたい皆さま、また神戸を離れていもお友達に、神戸の香りをとおどけになりたい方は、編集室までにお申込み下さい。さっそくお送りいたします。

★月刊神戸★

★月刊神戸★子におおきくお世話になってる神戸の銘店には、お客さまへのサービスとして神戸★子がおかれています。

★月刊神戸★子をお買い求めの時には左の本屋さんでどうぞ。

その★書棚★  
こーぷ★ックス  
大丸 三書局  
漢口 書店  
流泉 書房

神戸★子  
大丸 書店  
漢口 書店  
流泉 書房

京町 一丁目  
大丸 書店  
漢口 書店  
流泉 書房

麗出線。の「星屑」をものにした  
 着「シャマ」で。

★「毎号神戸」子を手紙に食べ歩き  
 というウケも多い。赤尾智子生  
 生の「神戸うらも」を、創刊十  
 七号目より登場。文字通神戸「  
 誌と共に歩んで来たこのうまいも  
 神戸の巡礼」まただ続けてほしい  
 のですが、一応今月でしめくらせ  
 ていただきます。望再登場。食べ  
 ことに終りなし。

★「生田川に白鳥を追って入水した  
 女性」を思って洗っている」と、突如聞  
 けるサブのリズム。ガッカリ浮か  
 れてダンスをけい。

★「を貰ってらった」、こまた、マクル  
 ーハンのホテル、なあ。熱せられず  
 ともはせる日、あ、匿名れず  
 女と来年五月、会えるはサンテレビ  
 の「ブラッリ、神戸」

★「酒まつり、管カニ、ニル、と二  
 大行事が終ってヤレヤレと思ったの  
 ころの間に、目の前は締切日が冷  
 酷にぶらさがり、時に追われ追われ  
 て頭の中はゴチャゴチャ、「エイ  
 ツノ!何とかなる」と度胸をきめる

子 刊 集 室 内 に あ り ま す。

神戸っ子 NO. 86  
 ＊発行／昭和43年6月1日  
 ＊編集・発行／小泉康夫  
 ＊発行所・神戸っ子編集室  
 神戸市葺合区八幡通5ノ96  
 K・Eビル4階  
 Tel ②7037②8072  
 頒価・100円





この腕を売る

## 声の玄関番

★

電話交換手係長

安田喜美

声一筋に三十余年。安田さんはホテルの声の玄関番——電話交換手である。

昔、ホテルの交換手は市民の海外向け電話取次ぎまでしたそうだが、当時は気苦労が絶えませんでしたと語る。

彼女ほどのベテランになると声だけで名前だけで名前のお客は数百人にのぼる。お客の方も自分の名前を知ってくれたことに大変気を良くするとい

うから、接客法を充分心得た一級交換手である。

日頃、若い交換手に、言葉使いだけは気を付けるよう忠告しているそう。若い社員にとっては仕事の他、何んでも相談のできる良きオパサ



# '68神戸っ子酒祭り開く 灘の酒ワンダフル!



★上は表彰式にごきげんの横綱朝比奈隆氏(左から)、大関西脇親氏、張出大関安部正夫氏★右下は番附審査員竹田洋太郎氏から表彰状をうける朝比奈氏と灘の銘酒をかかえ美女にかこまれてそろいのみを得つ三役陣。★オリエンタルホテル2階大ホールをうずめた酒徒。美女。酒徒の顔々。







ビールのみ競走で頑張る昭和っ子のお嬢さん



樽酒はのめどもつきせず樽ごとエイッ!



サケに強い外人チームに囲まれたミー坊

★神戸っ子七周年記念「68神戸っ子酒祭り」が、四月十五日オリエンタルホテルで開かれ四百名が集まった。灘五商会十二銘柄の一斗の樽出しの酒が木の香もかくわしく十二軒の居酒屋にすえられた。新装開店の続穂バガメラ（キャンテイナドガ合作）、笑おう亭（マング家連）毛乃可起亭（作家連）蛸壺亭、人魚亭、ヒッピー亭、松乃家亭、ルフラン亭、落亭、希久丸亭（A C C K + さりげなく）阿似亭、どっこいK O B E 行動美術亭などが、趣向と酒肴をこらし、酒豪を楽しませた。舞台では兵庫県洋舞家協会員による灘五郷酒造唄のバレエや、花柳芳恵一子、芳豊連中による民謡がはなやかな雰囲気盛りあげる。待望の神戸酒徒番附の表彰式は、初めて参会された朝比奈隆横綱をはじめ三役陣が美女にかこまれめでたくそらいのみを終え今年も酒道に精出すことを誓った。香べえ三代記は明治、大正、昭和の三組にわけてのビール飲み競争。昭和っ子には、女性も登場して見事なのみっぷりを披露。また神戸カーニバルにそなえて、フラワロードサンバの作曲者小曾根実氏が新作を紹介、会場全員がサンバを踊って幕というなごやかな集いとなった。お客さまの淡路恵子さんとバルボン、ジャンメルオーさん、ブラジル領事とエトランゼも。ワンダフル! と灘の酒をエンジョイした。（なお四月十九日朝日TV婦人ニコメで当日風景が放映された）



お客さまの淡路恵子さんと本誌小泉編集長・土方のママ(右)



井に風をうけグイッとひとくき神戸酒に懸命の酒徒



笑おう亭のたかはし・もう氏にさく  
朝日TVの玉井アナウンサー



暑い熱い！ でも素敵

夏でも汗をかきながら食べる楽しみ、一年中食べられる楽しみ、お友達と話しながら食べられる楽しみ、この三つの楽しみを叶えてくれるのが、ちゃんこ鍋。

呂 少 珍 (大東貿易勤務)



上はちゃんこ定食 (300円)、左はちゃんこ鍋 (500円)

お茶漬・おむすび・鍋もの

悟 味 西

阪急西口 <33> 3 8 4 8

鍋もの  
炉ばた

悟 味 西

阪急西口 <33> 3 8 4 8  
<2階>

★姉妹店

お茶漬・おむすび・鍋もの

ふ る り

生田前筋 <33> 5 5 3 5



## 祥福寺

文——陳舜臣 カメラ——緒方しげを

コウベはハイカラな面ばかりが目立つが、たんなる外来文物の溜り場であれば、薄っぺらなペンキ絵にすぎない。異国情緒はその地の風土と触れ合ってスパークをおこしてこそ深みをもつ。この雲水のメッカ祥福寺は、神戸のエキゾチシズムを理解するうえでも忘れてはならない。神戸がペンキ絵でないことを、この筆太の山水は教える。いまこの寺に禪を学ぶ外国人が数人いる。女性もいるそうだ。文明の輪廻とでもいうべきか。

こうべ  
ろまん

〈6〉

神戸の寺



神戸の財閥川崎一族の菩提寺が、この布引山麓の徳光院である。どうやらこの寺は、よそ者のよせ集めである神戸をシンボライズしているようだ。本堂は播磨の古寺を移したときく。この寺の上のほうにある六英堂は、東京新宿の岩倉具視の居室を移したものだ。石燈籠ふうの石柱は鹿児島城の城壁の一部とか。石の狛犬と墓所の石像は朝鮮からもってきた。そのかわり川崎男爵の銅像は戦時中供出してどこかへもって行った。台座だけが残っている。

### 徳光院





そりかえった屋根のうえに、二頭の竜がむき合い、本堂前にも二頭の獅子が門を守っている。朱と青と黄。金びかの関帝廟は神戸在留中国人の信仰の中心である。空襲で焼けたのを、戦後いちはやく再建した。華僑学校の再建よりも早かったので首をかしげる人もいたが、関帝は商売の神様だから、廟をつくって商売繁昌を祈願し、そのご利益によって学校をつくるという順序であろう。年じゅう線香の煙がたえない。

### 関帝廟





# No.4

●サンサカエ・ゴルフコーナー

## ゴルフの後のビールのうまさ

久保隆信(神映興業K・K社長)

広野ゴルフ場は松林が印象的である。蝶が飛びかい、馬酔木が咲き乱れる中で、久保氏のゴルフは豪快そのもの。10年のキャリアーを持ち、週に一回はゴルフに興じる、という久保氏は、腕前はまだまだ、と謙遜する。ゴルフの後のビールがうまくてネ、そのためにゴルフをするのです。とは氏の弁。  
〈広野ゴルフ場にて〉

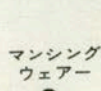
### 〈夏のゴルフウェア〉

- ★これからはゴルフウェアの目立つシーズンです。当店では、半袖ポロズボンetc. オリジナルな夏ものの舶来を全て揃えました。
- ★実に楽しい雰囲気のお店です。奥さんがとても親切でていねい。—久保氏談

マックグレガー



ラコステ



マンシングウェア

LACOSTE

ダンロップ



men's apparel

# サンサカエ

神戸元町 2  
TEL(33)-7885





# 神戸百店会

Kobe High Class Shop Group

## \*宝飾品 Jewel・Pearls

- ①宝飾 御木本真珠店 国際分館1階 06-0000612  
Mikimoto Pearls  
②宝飾 田崎真珠店 国際分館秀品店6 06-05564  
Tasaki Pearls  
③宝飾 北村真珠店 元町通二丁目2 06-000072  
Kitamura Pearls  
④宝飾 タジマジュエル 元町通二丁目7 06-000038  
Tajima Jewel  
⑤時計と宝石 美田時計店 元町通三丁目8 06-000079  
Mita Watch Shop  
⑥宝飾 神戸宝石 元町通二丁目7 06-000038  
Kobe Jewel  
⑦真珠・毛皮 パール・ラディーズ 元町通二丁目7 06-000038  
Pearl Fur & Ladies'

## \*紳士洋服・洋品 Tailor & Men's Shop

- ⑦紳士服 柴田喜吉洋服店 元町通四丁目3 06-000093  
Tailor Sibata  
⑧ネクタイ 元町バザー 元町通一丁目1 06-000040  
Motomachi Bazaar  
⑨紳士服 三恵洋服店 元町通四丁目0 06-000040  
Tailor Mituei  
⑩男子洋品 フナキヤ 元町通三丁目7 06-000038  
Funakiya  
⑪紳士服 十字屋洋服店 元町通五丁目8 06-000029  
Tailor Jujiya  
⑫洋品雑貨 サノヘ 元町通二丁目7 06-000047  
Sanohe  
⑬ワイシャツ 神戸シャツ 元町通二丁目8 06-000021  
Kobe Shirt  
⑭紳士服 洋服の粹 渡辺 元町通二丁目5 06-000050  
Watanabe  
⑮衣生活品 ニッケショールーム 元町通三丁目1 06-000090  
Nikke Showroom  
⑯紳士服 神戸テーラー 元町通二丁目8 06-000028  
Kobe Tailor  
⑰若人の服飾 マツ 三宮本店・三宮店・新地店・三宮店・Center-Gai・京都店 06-000033  
Mac Men's Shop  
⑱紳士服飾 うね 元町通二丁目7 06-000026  
Une  
⑳紳士シャツ 大和屋のシャツ 元町通二丁目5 06-000056  
Yamatoya Shirt

## \*婦人洋装・洋品 Ladie's Shop

- ㉑帽子 マキシム 元町通二丁目1 06-000071  
Maxim  
㉒服飾雑貨 エスターニュートン 元町通二丁目8 06-000031  
Esther Newton  
㉓洋品 スギヤ 元町通三丁目6 06-000034  
Sugiya  
㉔ハンドバッグ シラサ 元町通二丁目3 06-000013  
Shirasa  
㉕ベビー用品 ファミリア 元町1丁目06-0555  
Familia

- ㉖洋装 オカダ 元町通三丁目1 06-000051  
Okada  
㉗洋装 マスヤ 元町通三丁目1 06-000051  
Masuya  
㉘婦人服飾 ベニヤ 元町通三丁目1 06-000051  
Beniya  
㉙輸入服地 マルゼン 元町通三丁目5 06-000051  
Maruzen  
㉚婦人・紳士服 セリザワ 元町通三丁目1 06-000051  
Serizawa  
㉛毛皮 ベニーモ皮店 元町通三丁目1 06-000051  
Bennie Furrier(Furs)

## \*装身具・服飾品 Accessory・Dress

- ㉜ベッ甲 太田ベッ甲 元町通一丁目5 06-000019  
Ota Co. (Tortoise-shell ware)  
㉝ハンドバッグ イクシマヤ 元町通一丁目5 06-000019  
Ikushimaya  
㉞アクセサリー 芸夢 元町通二丁目9 06-000029  
Geimu  
㉟婦人・紳士靴 クロス靴店 元町通二丁目1 06-000017  
Cross Shoes  
㊱婦人・紳士靴 ヨシオカ 元町通二丁目1 06-000017  
Yoshioka Shoes

## \*和装 Kimono・Geta

- ㊲呉服 ちんがら屋 元町通三丁目6 06-000036  
Chingaraya  
㊳呉服 みよしや 元町通三丁目8 06-000038  
Miyoshiya  
㊴衣裳 中川衣裳店 元町通三丁目5 06-000055  
Nakagawa  
㊵衣裳 つるや衣裳店 元町通三丁目6 06-000036  
Tsuruya

## \*美容 Beauty Shop

- ㊶美容 美容室あきら 元町通三丁目1 06-000041  
Akira Beauty Shop  
㊷美容 美容室エリザベス 元町通三丁目1 06-000041  
Elizabeth Beauty Shop

## \*美術・工芸品 Art

- ㊸美術 元町画廊・若木屋 元町通一丁目9 06-000051  
Motomachi Gallery  
㊹画材・額縁 末積製額 元町通一丁目9 06-000030  
Suezumi  
㊺工芸 磯川工芸店 元町通三丁目9 06-000039  
Isokawa  
㊻美術陶磁器 淡洲堂 元町通三丁目7 06-000070  
Tanshudo  
㊼新古美術 播新 元町通三丁目8 06-000051  
Harishin

## \*家具 家庭・文化用品 Furniture・Family

- ㊽家具 永田良介商店 元町通三丁目9 06-000037  
Nagata Ryosuke Shop  
㊾玩具 カメヤ 元町通三丁目1 06-000051  
Kameya Toy Store

- ㊿メガネ 神戸眼鏡院 元町通三丁目2 06-000012  
The Kobe Optical Co., Ltd.  
㊿カメラ コヤマカメラ 元町通三丁目1 06-000051  
Koyama Camera Shop  
㊿儀式用品 富田屋 元町通三丁目2 06-000027  
Tomitaya  
㊿カバン 大上靴店 元町通三丁目2 06-000027  
Oue Trunk Co.  
㊿ゴルフ用品 タカハシ 元町通三丁目2 06-000027  
Takahashi  
㊿電器製品 元町家庭電器販売K.K. 元町通六丁目1 06-000031  
Motomachi Electric Co., Ltd.  
㊿薬品 三星薬局 元町通六丁目1 06-000033  
Sanseido Pharmacy  
㊿メガネ 服部メガネ店 元町通六丁目1 06-000031  
Hattori Optical Shop  
㊿結婚儀式用品 遠藤福寿堂 元町通六丁目1 06-000031  
Endo-Fukujudo

## \*ボーリング Bowling

- ㊿ボーリング 神戸スターレーン 元町通三丁目5 06-000015  
Kobe Starlane

## \*菓子・喫茶 Cake・Tea-room

- ㊿和洋菓子 風月堂 元町通三丁目5 06-000012  
Fugetsudo  
㊿瓦煎餅 亀井堂本家 元町通三丁目1 06-000016  
Kameido Honke  
㊿菓子 雁治郎給本舗 元町通三丁目2 06-000042  
Ganjiroame Honpo  
㊿洋菓子 ドンク 元町通三丁目1 06-000048  
Donk  
㊿チョコレート モロゾフ 元町通三丁目5 06-000038  
Morozoff  
㊿ドイツ菓子 ユーハイム 元町通三丁目9 06-000039  
Juchheim's  
㊿洋菓子 ヒロタ 元町通三丁目0 06-000023  
Hirota Confectionery  
㊿洋菓子 ユーハイムコンフェクト 元町通三丁目5 06-000015  
Yuhaimu Confect  
㊿和菓子 ニツ茶屋 元町通三丁目5 06-000038  
Futatsuchaya  
㊿菓子 本高砂屋 元町通三丁目7 06-000036  
Hon-Takasagoya  
㊿カステラ 長崎堂本店 元町通六丁目0 06-000030  
Nagasaki  
㊿瓦煎餅 亀井堂本家 元町通六丁目0 06-000016  
Kameido Sohonten  
㊿瓦煎餅 河南堂 元町通六丁目1 06-000013  
Kanaso  
㊿チョコレート コスモポリタン 元町通六丁目1 06-000031  
Cosmopolitan  
㊿瓦煎餅 菊水総本店 元町通六丁目1 06-000031  
Kikusui Sohonten  
㊿喫茶 UCウエシマコーヒショップ 元町通二丁目3 06-000031  
Uchisima Coffee Shop  
㊿洋菓子 アルモンド 元町通二丁目3 06-000031  
Almond  
㊿チョコレート ゴンチャロフ 元町通二丁目3 06-000031  
Goncharoff

- ㊿和洋菓子 本 元町通三丁目2 06-000012  
Kotobuki-Honpo  
㊿レストラン Eating House 元町通三丁目2 06-000012  
Eating House  
㊿和洋料理 竹葉亭 元町通三丁目2 06-000012  
Chikuyotei  
㊿天婦羅 可富 元町通三丁目2 06-000012  
Okagawa  
㊿和洋料理 一富 元町通三丁目2 06-000012  
Ichifuji  
㊿寿司 本成駒 元町通三丁目2 06-000012  
Hon-Narikomaya  
㊿和洋料理 武蔵 元町通三丁目2 06-000012  
Musasi  
㊿スペイン料理 カルメ 元町通三丁目2 06-000012  
Carmen  
㊿和洋料理 ハナワグリル 元町通三丁目2 06-000012  
Hanawa Grill  
㊿和洋料理 ニュー・トーキョー 元町通三丁目2 06-000012  
New Tokyo  
㊿和洋料理 時雨茶屋 元町通三丁目2 06-000012  
Shigure Jaya  
㊿和洋料理 蛸の壺 元町通三丁目2 06-000012  
Takonotsubo  
㊿レストラン コラルキタノ 元町通三丁目2 06-000012  
Coral Kitano  
㊿レストラン ブランドウブラン 元町通三丁目2 06-000012  
Blanc de Blanc  
㊿和洋料理 弥平 元町通三丁目2 06-000012  
Yasakaeya  
㊿和洋料理 又 元町通三丁目2 06-000012  
Matahei  
㊿和洋料理 大井肉店 元町通三丁目2 06-000012  
Oai Beef Shop

## \*クラブ・料亭 Night Club

- ㊿料亭 松乃家 元町通三丁目2 06-000012  
Matsu no ya  
㊿ナイトクラブ 北野クラブ 元町通三丁目2 06-000012  
The Kitano Club  
㊿クラブ くらぶ花くま 元町通三丁目2 06-000012  
Club Hanakuma

## \*ホテル Hotel

- ㊿ホテル 神戸オリエンタルホテル 元町通三丁目2 06-000012  
Oriental Hotel  
㊿ホテル 六甲オリエンタルホテル 元町通三丁目2 06-000012  
Hotel Rokko Oriental  
㊿観光旅館 有馬温泉(東有馬)古泉閣 元町通三丁目2 06-000012  
Kosenkaku  
㊿商社 Trading House 元町通三丁目2 06-000012  
Trading House  
㊿ビール 朝日麦酒 K.K. 元町通三丁目2 06-000012  
Asahi Beer  
㊿電化製品 ナショナル電化センター 元町通三丁目2 06-000012  
National Electric Center  
㊿銀行 神戸銀行 元町通三丁目2 06-000012  
Bank of Kobe  
㊿珈琲・紅茶 UCC上島珈琲本社 元町通三丁目2 06-000012  
UCC





★ KOBE HIGH CLASS SHOPS GROUP

# 神戸百貨会

神戸のユニークな専門店でお買ものを!



※地図の都合で記入できないメンバー

- 一富士
- コラルキタノ
- 北野クラブ
- 六甲オリエンタルホテル
- 有馬温泉 古泉閣
- ムラタパール本社
- 田崎真珠本社

# 明日への飛躍に ボーナスを

100万円ねらって！

5<sup>ゴ</sup>！5<sup>ゴ</sup>！5<sup>ゴ</sup>！スタート



東宝／内藤洋子

…これで100万円近く 知らぬまに  
たまり 100円単位でグングン利子  
のつく《こうべ》の積立！

進学・結婚・マイホームなど楽し  
い暮らしのプランに あなたも100  
万円めざして〈GŌ/GŌ/GŌ/  
作戦〉に参加してください。



■好きな額で  
**自由積立預金**  
■決まった額で  
**定額積立預金**

## 神戸銀行

毎月  
5000円！  
ボーナス月  
50000円！  
積立期間  
5年間

★百店会でのお買物は神戸銀行ホームチェックをご利用ください

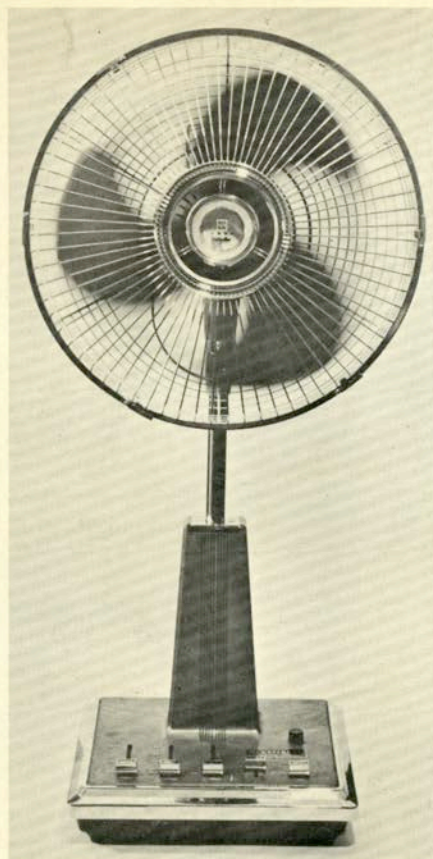


# ナショナル Q 羽根 扇口機

## 松風

巾広い羽根  
風量がぜんアップ!

●風のベストセラー まつかぜ



〈電子扇〉

35センチ超高級お座敷扇“松風”

F-35QH

月賦定価(6回)

31,600円

現金正価

29,500円

着脱式Q羽根・自由首振り・前面首振り・前面首振り  
角度調節・ソリッドステート無段変速・3時間タイ  
マー・電動式高さ調節・コード自動捲込み・分解パ  
ック梱包

- ★使い勝手は抜群
- ★定評ある自由首振り
- ★自動まきこみ装置
- ★強力コンデンサーモーター
- ★分解パック梱包

